

気楽に、気軽に ラジオ体操に集う

かけだし 鳥取市掛出ラジオ体操会

朝は体操から始まる

高らかなマーチの音楽とともに、朝6時半に始まるラジオ体操。みなさんも小学生のころ、夏休みになるとカードを手に集まり、みんなで体操をしたのではないだろうか。

このラジオ体操を、地域のみなさんとともに15年間続けているのが、鳥取市掛出ラジオ体操会です。4月から11月まで、日曜・祝日を除く毎朝、とりぎん文化会館の駐車場でラジオ体操をしています。

「きまりも会費もありません。元気に気楽に仲良くをモッ



水野 昭雄 さん
Akio Mizuno

トーに、みなさんといっしょにやってきた結果、15年間続いていきます」と、世話役の水野昭雄さんは笑顔で語ります。

県民文化会館とともに

この会は、平成5年10月、鳥取県立県民文化会館（現とりぎん文化会館）の駐車場とともに誕生しました。

長年、掛出町に住んできた水野さんは、県民文化会館の建設が進むとともに、区画整理によって、掛出町の住民が少なくなっていくのを寂しく思っていました。それと同時に、広大な駐車場が現れてき

て、久松山を望むことのできるこの広場で何かできないかと考えました。思いついたのが、ラジオ体操です。県民文化会館の担当者に相談したところ、駐車場を使う許可を得ることができました。

そうして、掛出町のみなさんに声をかけ、10月1日からラジオ体操を開始。その後、庖丁人町など近隣の町内にも案内をし、人数が増えてきました。

「駐車場の真ん中の、ムクの木の下に集まって、みんなで体操します。この木は元々、掛出町のお屋敷の庭に生えて



まっすぐ手を伸ばし、さわやかに体操します

いたものなんです。県にお願いして、残してもらいました。いわば『掛出町の木』です。日差しの厳しい日には、日よけにもなりますよ」と水野さんは教えてくれました。

ラジオ体操の放送現場

水野さんは、25年前までNHKに勤務され、全国で開催される、夏休み巡回ラジオ体操の放送を手がけたこともあったそうです。

「山口県の萩市でのことなんです。放送の直前になって急に大粒の雨が降り出したことがありました。雨に備え

因幡地方の名品

本願寺梵鐘 ほんしやう



本願寺梵鐘

提供：鳥取県立博物館

古来よりその音が時を刻み、日本の原風景に響き伝わってきた寺院の鐘、梵鐘。鳥取市本願寺には国の重要文化財に指定されている梵鐘があります。

鐘は鋳型に流し込んで作りますが、表面には金属を流し込む時にできた気泡のような跡が残ります。また、摩滅しているため、文様などはわかり

ません。つるす際の取っ手にあたる部分、「竜頭」の竜もおおらかな顔つきをした、素朴な印象を受ける鐘です。銘はありませんが竜頭の位置関係や撞座の配置などから、平安時代に作られた梵鐘だと考えられています。

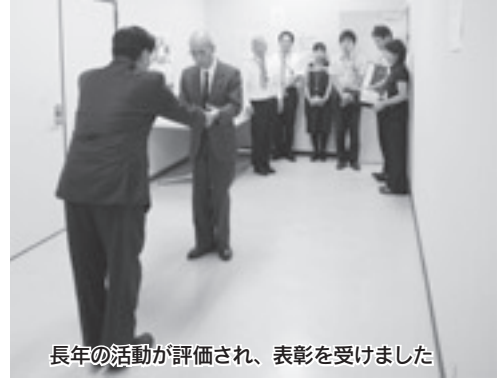
この梵鐘、江戸時代の地誌「因幡誌」によると、今の伏野近辺の海から引き上げられたという伝承を持っています。竜宮の使い、あるいは竜女に請われて海に沈めた鐘と言い伝えられ、それを裏付けるかのように、貝殻が付着したような痕跡もみえます。また、現在、寺町にある本願寺はもともと湖山の辺りにあったとも言われています。大型の機械などが存在しない江戸時代に、高さ1.2メートルもある鐘を海から引き上げ、また伏野から鳥取城下まで運ぶのには、どれほどの苦労があったのでしょうか。当時の人が伝承を信じたかどうかはわかりませんが、同時代の他のものとは違った形をした梵鐘に不思議な魅力を感じ、城下町へと運び込んだのかもしれませんが。

鳥取市歴史博物館では9月5日（土）よりⅠ期に引き続き、「因幡地方の名品」Ⅱ期を開催します。本願寺梵鐘も数十年ぶりにお寺の鐘楼から移し、やまびこ館で展示します。竜女をも魅了したと言われる見事な迫力の梵鐘を、ぜひ間近でご覧ください。

鳥取市歴史博物館学芸員 田鍬美紀 たくわみき

問い合わせ先

やまびこ館 上町88 (0857) 23-2140



長年の活動が評価され、表彰を受けました

情報交換も楽しく

と、ラジオ体操の放送が終わると、駐車場のごみ拾いや草取り、弱い雨なら大丈夫です。

隣の体育館にも会場を準備しておいたのですが、あまりに急で、移動もままなりません。集まられたみなさんはもちろん、ピアノや放送機材がぬれるのが心配で」と、放送現場の苦労を振り返ります。

「楽しいことに、とりぎん文化会館には雨よけになるところがたくさんあります。弱い雨なら大丈夫です。ラジオ体操の放送が終わると、駐車場のごみ拾いや草取り、弱い雨なら大丈夫です。隣の体育館にも会場を準備しておいたのですが、あまりに急で、移動もままなりません。集まられたみなさんはもちろん、ピアノや放送機材がぬれるのが心配で」と、放送現場の苦労を振り返ります。

「人数は分からないそうです。毎年11月の最後の日には、みなさんと集まって「健康感謝昼食会」を開きます。水野さんによれば「千円くらいの会費で、みんなで会食。そこでも健康について『ああしたらしい、こうしたらいい』なんて話題に花が咲いていますよ」とのこと。

「12月から3月の間はオフ。各自が自宅で体操し、4月に再会すると、互いの健在を喜び合います。この15年間の活動が評価され、平成21年度のラジオ体操優良団体等府県等表彰を受賞しました。近所の鳥取大工町郵便局の局長さんが申請に尽力されたそうです。」